

やはば

議会だより

212
2020.4.16
岩手県
矢巾町議会



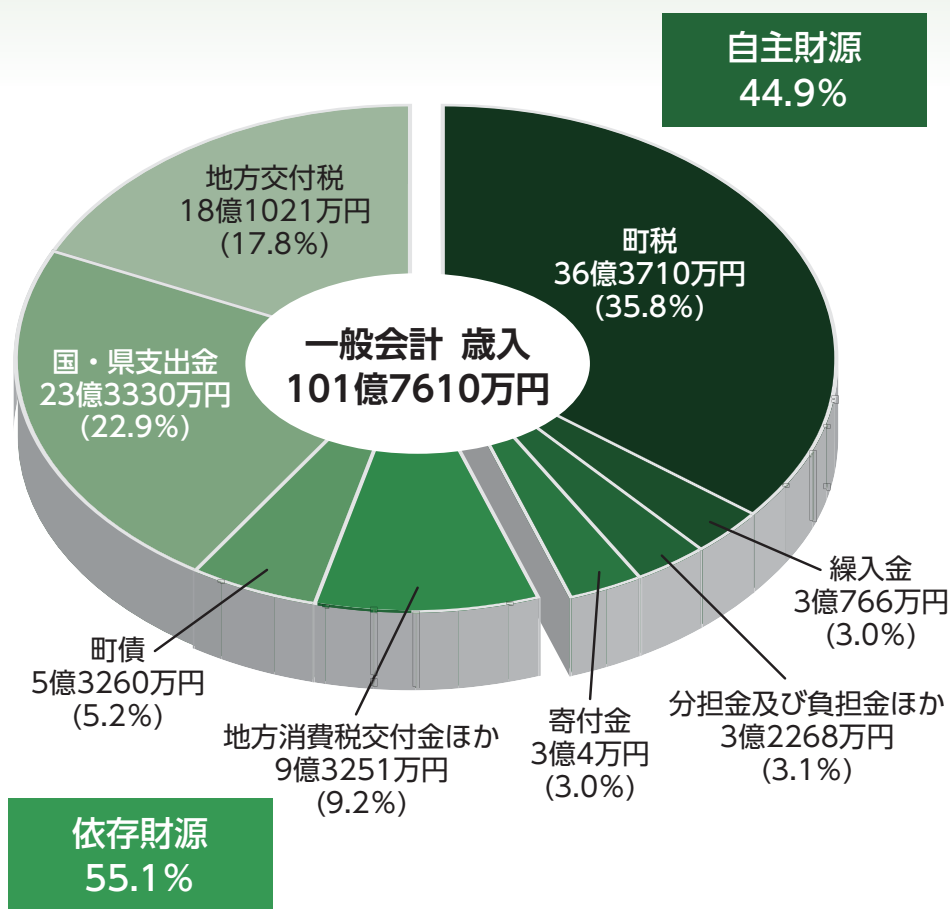
令和2年度 予算可決
希望と誇りと躍動のまちへ 2
予算審査
議論白熱 5
町政を問う
代表質問3会派・一般質問10議員 12

町民劇場
(関連記事… P 28)

躍動のまちへ

定例会3月会議は2月19日から3月18日まで29日間開催され、令和2年度の当初予算を可決しました。一般会計の予算は、前年度より12億7710万円減額し、総額101億7610万円となりました。
(%表示は構成比)

【入ってくるお金】



用語解説

自主財源

町が皆さんから集めたお金

依存財源

国や県からもらえるお金

繰入金

町の貯金を取り崩して使うこと

分担金・負担金

保育料など、特定のサービスを受ける者からもらうお金

町債

町が借り入れたお金

国・県支出金

国や県からの補助

地方交付税

国が市町村の人口や面積などの割合を基に交付するお金

介護保険事業特別会計

22億6162万円

前年度比
3.4%増

要介護区分の認定、介護サービス給付費や介護予防事業を行います。対象は65歳以上の方全員と、40歳以上で要件を満たす方です。

被保険者 (7,069人)
1人当たり

31万9935円

国民健康保険事業特別会計

23億5426万円

前年度比
15.7%減

国民健康保険加入者の医療費や健康保持や増進を図る特定健康診査、特定保健指導などに取り組みます。

被保険者 (4,961人)
1人当たり

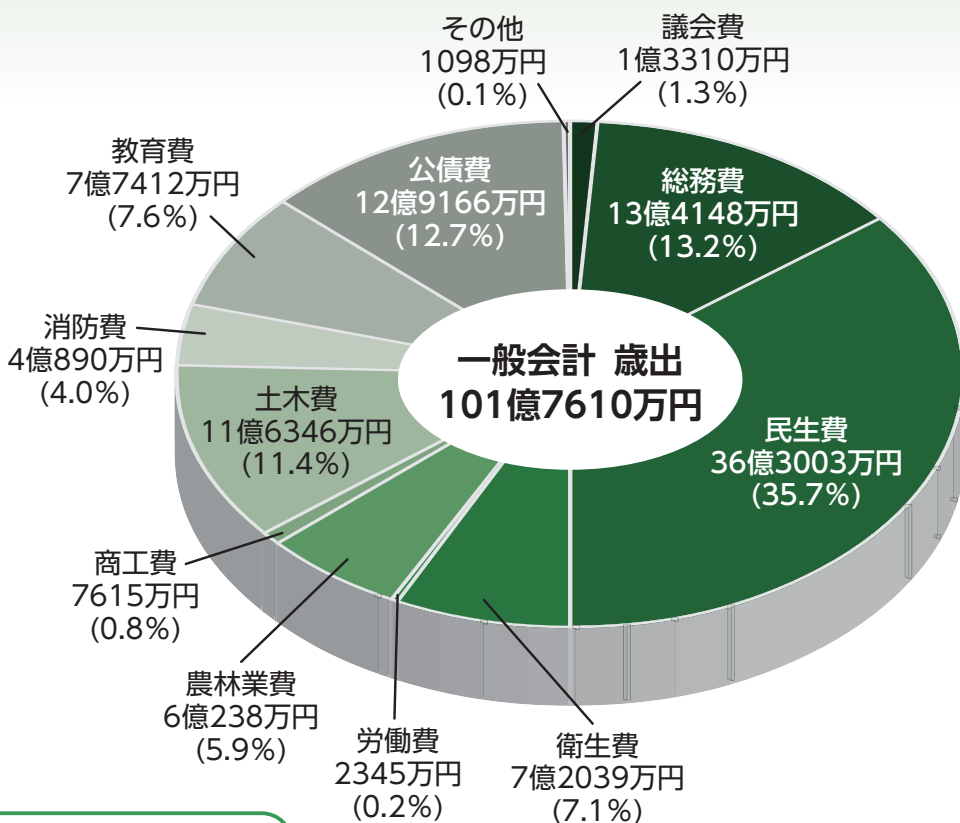
47万4553円

※1人当たりの金額は2月末の対象者数から算出しました。

令和2年度予算可決

希望と誇りと

【使うお金】



用語解説

総務費
庁舎、財産等の維持管理等のための経費

民生費
児童手当や高齢者、障がい者など、福祉のための経費

公債費
町が借りたお金の返済

収益的収入・支出
水道水の供給や汚水の処理に使用するための収入や支出

資本的収入・支出
施設の新設や再整備に使用するための収入や支出

企業会計※

| 事業 | 項目 | 金額 | 前年度比 |
|-------|-------|-----------|--------|
| 水道事業 | 収益的収入 | 8億8307万円 | 11.8%増 |
| | 支出 | 6億1113万円 | 10.7%増 |
| | 資本的収入 | 1505万円 | 93.9%減 |
| | 支出 | 5億3561万円 | 30.1%減 |
| 下水道事業 | 収益的収入 | 11億2914万円 | 6.9%増 |
| | 支出 | 11億1963万円 | 7.5%増 |
| | 資本的収入 | 3325万円 | 86.7%減 |
| | 支出 | 6億1628万円 | 10.8%減 |

後期高齢者医療特別会計

2億1388万円 前年度比 6.7%増

75歳以上の方、65歳以上で一定の障がいがある方を対象に、保険証（被保険者証）の交付や、高額療養費等の申請受付を行います。

被保険者 (3,286人) 1人当たり **6万5088円**

※水道・下水道事業会計は複式簿記で会計処理を行う企業会計なので、記載の方法が異なります。

健康で安全なくらしを

主な事業を ピックアップ

コミュニティ施設等
補助事業 1100万円



各自治会の防犯灯や公民館のエアコン設置などの
費用に1/2補助（※補助金額に上限あり）

メディカルフィットネス
推進事業 4760万円



健康増進のため医療と連携した運動ができる
施設「ウェルベース矢巾」の運営を委託

防災安全対策事業
2億7700万円



町道に歩道を設置するための測量調査や
支障となる物件の補償、工事費など

ボランティア拠点
施設整備 900万円



主に認知症の方等を支援するオレンジ
ボランティアの拠点施設を整備

議論

予算決算 常任委員会

白熱

決算審査は、議長を除く17人の委員で構成される予算決算常任委員会（廣田清実委員長、昆秀一副委員長）で審議しました。

一般会計

総務・財政

中古車を含め検討する。

質問 婚活推進事業の内容は。

回答 婚活支援補助金は、i-サポ（アイサポ）という婚活支援団体に加入する方に対し、登録手数料を補助する。また、婚活推進事業補助金は町婚活推進ネットワーク会議（民生委員などで組織する団体）への補助金。内容は、婚活イベントの運営である。

質問 クラウドファンディング等で500万円達成したが、今後どのように活用するか。

回答 煙山小学校の演奏を聴いて感動した方からも寄付をいただき楽器を購入している。

質問 区長のなり手が不足している。町民に知ってもらうことが大切と思うが。

回答 4月から区長制度も変わるため、広報等で紹介し役割なども周知したい。

質問 循環バスは古くなっていくようだが、あとどれくらい使用するのか。

回答 平成5年式で26年目となる。財政は厳しいが新車、

今年度はバスツアー等を行い7組のカップルが成立。

質問 東京圏（千葉、埼玉、神奈川含む）からの移住に対する移住支援補助金の内容は。

回答 移住支援補助金は今年度からで、国県と一緒に行う。盛岡広域で移住支援イベントや地域おこし協力隊の募集もあわせて進めたい。東京圏以外は支援対象とならない。



矢巾町婚活推進ネットワーク会議が町と共催で行った婚活イベント

質問 メディカルフィットネスの会員登録の状況は。

回答 200名程度で比較的年齢層が高いと聞いている。

質問 コンビニ交付の手数料や交付件数の状況は。

回答 コンビニへの手数料が1枚あたり117円、交付件数は679件である。マイナンバーカードの普及

と合わせて推進していく。

質問 デマンド交通はどういう人を対象としているのか。

5月から運行内容の改善をするが、説明会をこまめに開催してほしい。

回答 対象は通院と買い物等を想定した利用者などである。利便性の向上は地域公共交通会議で検討していく。

防災・安全

質問 防犯灯のLED化ほどの程度進むのか。

回答 全体の50パーセント程度で、自治会と相談しながらやっている。

質問 防災士の養成と今後の活用は。

回答 昨年度52名合格し、各地区1名以上となった。来年度は、防災士を10名養成するとともに、民生委員や消防団、子供会を入れて地域独自の防災マップを作りたい。

質問 企業に対する消防団員の募集はどのように行うか。

回答 企業への直接の募集は難しい。知人や団員を通じたネットワークを活用しながら募集を行っていく。

産業・建設

質問 親元就農給付金の受給は、就農5年後の所得を250万以上とする計画で承認されるが、達成できないときは。

回答 現時点でのペナルティはない。5年後に移行する認定農業者の目指すべき所得は400万円という計画のため、その前段階としての金額要件としている。見直しが必要かもしれないが様子を見ながらとしたい。

質問 中山間地域等直接支払交付金は2600万円とあるが、今年度の活用状況は。

回答 ドローン購入とその講習会での活用や防草シートの設置などに使っている。

質問 ドローンの使用地域は。

回答 高速道路の西側が対象地域である。近隣でも活用できる。

質問 農村環境改善センターの指定管理先はどこか。

回答 これまではJ Aであったが、令和2年度からの指定管理者は株式会社寿広になった。

質問 今年は降雪が少なく他自治体では建設業者が支援を求めた。本町ではどうか。

回答 本町は契約で稼働しない分については、待機料として支払っている。来年度以降もそのように行う。

質問 矢幅駅の切符売り場は1カ所しかなく、利用者が多い朝夕は混雑し切符の購入に時間がかかる。

J Rと協議できないか。

回答 状況は把握している。J Rと協議する機会があるので情報提供し対応を要望していく。

質問 交通安全施設整備事業の防護柵の設置場所は。

回答 未就学児童安全対策だが、今回は2カ所あり、新田ユニバース前、田園ホール前の交差点を考えている。

質問 ひまわりパークに、いろいろな花を植える予定は。

回答 4月には菜の花、8月にはひまわり。南昌フラワーパークや温泉そばには黄色いコスモスなどを植える予定。

質問 生活道路の整備要望が増えているが、できない場合は自治会に説明してはどうか。

回答 優先順位の高いところ

から整備する方針である。問い合わせに対しては説明していく。

福祉・環境

質問 幼・保副食費（おかずやおやつ）無償化の考えは。

回答 運営補助金のあり方を含め、各園と協議を進めたい。

質問 健康診断や地域活動の場であり、避難所指定されている自治公民館にエアコンが必要ではないか。

回答 設置費用は補助している。引き続き自治会と相談しながら進めたい。

質問 生ごみ用バケツにパーク（木の皮）を入れているが、本格運用の時期は。

回答 また、夏場のパークの量は、4月から本格的に取り組む。夏場はにおい対策等の効果をみながら、パークの量について環境施設組合と連携し進めていく。



農作業の軽減が期待されるドローン

教育・文化

質問 いじめ条例が制定された後も件数は増えているが、その原因は。

回答 いじめ見逃しゼロを目指し取り組んでいる。子どもたちの意識も高く、些細な事も認知件数としている。

質問 不動小学校や煙山小学校ではグラウンドの状態が良くないがどう考えているか。

煙山小学校の下駄箱は劣化し板がささくれている。
徳田小学校のプールは、底の亀裂から濁った水が出てくる。毎日使う設備もあり修繕等できないのか。

回答 不動小学校のグラウンドは、真ん中が低くなつており水が溜まりやすいため、砂を補充し整地を行った。

煙山小学校は周りに駐車場がなく、行事の際に保護者の車がグラウンドに駐車し、整備しても荒れてしまう。グラウンドに車を入れないよう工夫していきたい。

下駄箱については矢巾町建設業協議会などにも相談し応急的な対応を検討していく。

徳田小学校のプールについては認識しているが、大変費用がかかるため、代案がないか模索している。

質問 学校給食の運営は民営化も選択肢として検討するということだが、食の安全は守れるのか。

回答 民営化については、1つの選択肢として検討している。その際は献立を県の栄養教諭が行い、食材調達も町が行うので安全は保たれる。食育も大切な教育であり、資料を集めて考えていきたい。

質問 徳丹城の周りに車やバスの駐車スペースがない。観光化に向けてバスが駐車できるようにする場所が欲しいが、その考えは。

回答 駐車場については歴史民俗資料館近くの土地所有者に貸借または取得をお願いしたいと考えている。



駐車場が望まれる徳丹城史跡付近
(左下は町指定文化財 佐々木家曲家)

企業会計

上下水道

質問 医大が開院して6か月になる。水道使用量は1日千トンと聞いていたが、現在の状況は。

回答 昨年1月と今年の1月を比較すると1日当たり約400トンは増えている。

質問 水道管耐震化の今後の計画は。

回答 南昌病院付近を予定。浄水場内の設備や機械の更新も必要のため、バランスを見ながら進める。

質問 上下水道工事後の道路の凹凸を整備してほしいが。

回答 業者が道路の仮復旧後に本復旧をする。本復旧後も適切に指導していく。

みなさんからの陳情

▼国による妊産婦医療費助成制度創設等を求める陳情者

岩手県保険医協会
会長 南部 淑文

全員賛成

採択 審査意見

※成育基本法では社会的経済的状况にかかわらず安心して社会を担う子どもを生み育てることができる環境整備の推進を定め、国、地方公共団体等の責務等を明らかにしている。

実現するためには、妊産婦に対して疾患などによる制限のない妊産婦医療費助成制度を国が創設することが重要。また、自治体独自の現物給付を実施している場合、国保国庫負担金の減額措置がなされておらず、全ての福祉医療制度について国保国庫負担金の減額措置を廃止すべきとの主旨は理解できる。

審査報告

予算決算常任委員会委員長 廣田 清美

やさしい町づくりに向けて

付託された当初予算議案について、次のとおり附帯決議を付して議長へ報告しました。

- 企業版ふるさと納税やクラウドファンディングで財源確保に努められたい。
- 第7次矢巾町総合計画後期基本計画は、議会と情報共有し事業を推進されたい。
- 移住定住促進に向け、町の認知度を高めるため各種支援策の充実を図られたい。
- デマンド型乗合タクシーや市街地循環バスは、町民の意見を取り入れ、利用しやすい運行に努められたい。
- メディカルフィットネス推進事業は、多くの町民が参加できる事業展開を。
- 未利用町有地は、早期活用に取り組まれたい。
- 地域活動拠点や避難所になつている自治公民館には、自治会と連携を図り、エアコン設置を進められたい。
- 若者の声を取り入れ、実践に結び付くまちづくりに取り組まれたい。
- 安心して子育てできるような多子世帯等への支援充実を。
- 生活困窮者等への相談体制の充実を図られたい。
- チームオレンジ拠点施設は、多くの町民が集える場に活用されるよう進められたい。
- 生活支援コーディネーターは地域活性化に重要であり、専門性とアイデアを持つて職務にあたるよう指導されたい。
- 町民の健康のため、受動喫煙を防止する取り組みを進められたい。
- 新規就農者への補助事業を充実されたい。
- 生活道路整備や街路灯・防犯灯の設置を進められたい。また、町道矢次線の整備促進に努められたい。
- 県や関係機関との連携により、町内河川の浚渫工事を早急に進められたい。
- 防災士の活用を推進し、防災マップを活用した訓練を行い防災意識の醸成を。
- コミュニティ・スクールは、地域の理解が必要であることから、地域住民や保護者への周知・理解に努められたい。また、教員の多忙化解消に向けた取り組みを進められたい。
- 流通センター地区が町の上下水道事業に編入されたことから、当該地域の上下水道管渠強靱化に取り組まれたい。

審査報告書は一部抜粋して記載しています。全文は議会ホームページをご覧ください。

反対 説明責任が足りない

国保税の税率改正は子育て世帯に大きな負担となる。スーパーシティ・国家戦略特区構想を進めようとしているが、事業の進め方が拙速であり大きな問題がある。説明責任が足りない。学校給食民営化の検討も、安全を危惧することから反対する。

小川 文子

反対 町民の生活に向き合い

地方創生推進交付金は大企業に委託し大企業への利益優先の予算計上である。国民健康保険税・介護保険料等は高く、町民を苦しめる内容になっている。上下水道企業会計は、国債を保有し剰余金を出している。町民の命をはじめとした生活に向き合い調査等を行い精査することが求められる。

川村 よし子

討論

賛成 町民目標の機構改革を評価

認知症の方の家族を支え、社会参加型の活動拠点を設け、認知症高齢者の安全確保対策として「徘徊高齢者等位置検索サービス端末」支援事業や生活支援コーディネーターによる人と人をつなぐことで、独居世帯・高齢夫婦に対する「地域コミュニティの互助機能」の取り組みを評価する。

村松 信一

賛成 円滑な予算執行が必要

町の会計は、本来こんな仕事をしたいのでこれだけの収入が必要であるという考えが基本だが、その収入の約半分は国からの交付金である。そのため、限りある予算を重点的に配分すべきであり、第7次総合計画後期計画の初年度である本予算は、円滑に執行する必要がある。行政運営に期待し本予算に賛成する。

昆 秀一

フィットネスで健康寿命延伸

1月31日に開催された1月第2回会議では、工事請負契約の締結や一般会計の補正予算などを審議・可決しました。

2月19日から開催された3月会議では、令和2年度予算のほかに条例の一部改正や指定管理者の指定、補正予算などを審議・可決しました。令和元年度一般会計の総額は126億7308万円となりました。

1月第2回会議

工事請負契約

町道中央1号線 道路改良その7工事

矢巾東小学校前の交差点から北側の道路改良工事を6105万円で行います。

歩行者の安全対策は

質問 完成の時期は。また、工事期間中の安全対策は。

回答 令和2年7月末に完成予定。交通量が増加しているため、交通誘導員を配置し、子どもの安全に配慮する。

条例

一般職の任期付職員の採用等に関する条例

高度化、専門化する行政課題に対応するため、知識や経験のある職員の給料などを定める。

専門職の内容は

質問 今回採用予定の内容は。また今後、医療や介護の専門職の採用予定はあるか。

回答 令和2年4月に災害対策の専門員を1名採用予定。今後、医療福祉分野で必要になった際は考えていきたい。



健康寿命延伸のための施設 ウェルベース矢巾

3月会議

条例

メディカルフィットネス ウェルベース矢巾設置条例

将来の医療費などの抑制や、

健康寿命延伸のための活動拠点となる施設の設置目的や、名称などを定めます。

業者選定や進捗状況は

質問 業者選定やオープンに向けた進捗状況は。

回答 業者選定は公募で行い、1社からの応募があった。2月末にはすべての工事が完了し、※3月15日にはオープンする予定。

町立学校通学区審議会 条例の一部改正

町立学校運営協議会（コミュニティ・スクール）設置に伴い、各学校に設置している学校評議員を廃止し協議会の委員を加える。

廃止後はどうなるのか

質問 今まで、評議員制度だったがどのように変わるのか。

回答 小中学校6校を1つの学校と見立てて、コミュニティ・スクールを設置する。学校ごとの部会も設ける。

指定管理者の指定

補正予算

国民保養センター・介護
予防拠点施設高齢者セン
ター・屋内ゲートボール
場・屋外ゲートボール場

矢巾観光開発 株式会社

矢巾町農村環境

改善センター

株式会社 寿広

都市公園（広宮沢公園・
鹿妻公園・北川公園）

協同組合 盛岡卸センター

矢巾総合射撃場

NPO法人 矢巾総合射撃場

ともに3年間指定管理者と
します。

主な内容は次のとおりです。

主な歳入

▽地方消費税交付金

△7642万円

▽事業等組合解散に伴う

工事負担金
3350万円

▽公立学校情報通信

ネットワーク環境施設

整備費補助金
3175万円

▽学校教育施設等整備事業債

3710万円

▽保育対策総合支援

事業補助金
220万円

主な歳出

▽都市計画事業当組合

運営事業工事請負費
3350万円

▽学校情報通信ネットワーク

環境整備業務委託料
6910万円

▽保育対策総合事業補助金

217万円



スポーツでも活用できる
農村環境改善センター（室岡）

第7次矢巾町総合計画後期基本計画策定調査特別委員会報告

進捗状況を把握し確実な実施を

令和元年11月第2回会議で特別委員会（委員長：高橋七郎）を設置し、第7次矢巾町総合計画後期基本計画策定に関する調査の付託を受けて調査研究を行ってきました。最終報告は次のとおりです。

調査経過

令和元年11月14日に特別委員会の設置以降、これまで特別委員会6回、幹事会5回をそれぞれ開催し、担当課より2回にわたり内容について説明を受け、総合計画後期基本計画（案）に対し、173件の質問や意見が出され分科会で協議するなど、調査・研究を行った。

調査意見

第7次矢巾町総合計画が平成28年度から始まり、「希望と誇りと活力にあふれ躍動するまちやば」を基本理念に掲げ、事業に取り組んできた。

前期基本計画の期間は、令和元年度までの4年間となっており、岩手医科大学附属病院の移転開院に伴う整備や矢幅駅周辺土地区画整理事業など、さまざまな事業を進めてきた。

後期基本計画の策定にあたり、議会では本特別委員会を設置し、計画の策定に向け町

当局と一緒に取り組むこととした。

第7次矢巾町総合計画後期基本計画の実効性を高めるため、進捗状況の把握に努めるとともに、検証や評価、改善などのスケジュールやその周知方法等の明確化を図り、PDCAサイクルを確立することを強く要望する。

なお、その結果の検証については予算決算常任委員会に引き継ぐこととし、特別委員会の最終報告とする。



各議案の採決状況

令和2年定例会1月第2回会議

| 議案番号 | 提出議案 | 議員名 | | | | | | | | | | | | | | | | 採決結果 | | |
|------|-------------------------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|------|-------|---|
| | | 藤原 信悦 | 吉田 喜博 | 小笠原 佳子 | 谷上 知子 | 村松 信一 | 廣田 清実 | 高橋 安子 | 水本 淳一 | 赤丸 秀雄 | 昆 秀一 | 藤原 梅昭 | 長谷川 和男 | 川村 よし子 | 小川 文子 | 山崎 道夫 | 廣田 光男 | | 高橋 七郎 | |
| 第1号 | 町道中央1号線道路改良その7工事請負契約の締結 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第2号 | 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第3号 | 令和元年度一般会計補正予算（第7号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |

令和2年定例会3月会議

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第4号 | 第7次矢巾町総合計画後期基本計画 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第5号 | メディカルフィットネスウェルベース矢巾設置条例の制定 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第6号 | 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第7号 | 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正等 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第8号 | 上下水道事業の設置等に関する条例及び監査委員条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第9号 | 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第10号 | 印鑑条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第11号 | 手数料条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第12号 | 農業集落排水処理施設条例等の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第13号 | 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第14号 | 町立学校通学区域審議会条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第15号 | 特別会計条例を廃止する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第16号 | 矢幅駅西地区土地区画整理事業基金条例を廃止する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第17号 | 国民保養センター、介護予防拠点施設高齢者活動センター、屋内ゲートボール場及び屋外ゲートボール場に係る指定管理者の指定等 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第18号 | 農業環境改善センターに係る指定管理者の指定等 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第19号 | 矢巾総合射撃場に係る指定管理者の指定等 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第20号 | 都市公園に係る指定管理者の指定等 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第21号 | 令和2年度一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第22号 | 令和2年度国民健康保険事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第23号 | 令和2年度介護保険事業特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第24号 | 令和2年度後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第25号 | 令和2年度水道事業会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第26号 | 令和2年度下水道事業会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第27号 | 職員のサービスの宣言に関する条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第28号 | 税条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第29号 | 職員定数条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第30号 | 令和元年度一般会計補正予算（第8号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第31号 | 令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第32号 | 令和元年度介護保険事業特別会計補正予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第33号 | 令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第34号 | 令和元年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第35号 | 令和元年度水道事業会計補正予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第36号 | 令和元年度矢巾町下水道事業会計補正予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 第37号 | 令和元年度一般会計補正予算（第9号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 発議案第1号 | 議会委員会条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 発議案第2号 | 国による妊産婦医療費助成制度創設等を求める意見書の提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 発議案第3号 | 第7次矢巾町総合計画後期基本計画策定調査特別委員会の廃止 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |

○=原案に賛成 ●=原案に反対 可=可決 否=否決

注：藤原由巳議長は採決に加わらない。

ズバリ 町政を問う

代表質問

交渉会派3会派が代表質問を行い、活発な議論が展開されました。
本町議会では、3名以上で構成する会派を交渉会派としています。

- 町民の会 廣田清実議員…………… P13
○認知症対策施設整備は ○スクールバス運行計画は ○共同調理場運営形態は
- 一心会 廣田光男議員…………… P14
○施政方針の重点施策は何か ○農協と行政の役割は
- 矢巾明進会 村松信一議員…………… P15
○大きな前進空き家対策 ○いじめ問題の現在の対応は
○消防退職者採用の考えは ○農業の将来は

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

- 昆 秀一議員…………… P16
①貧困問題を解決するには
②笑いとうーモアの効用
③ボランティア活動の支援充実を
④コミュニティ・スクールについて
- 赤丸秀雄議員…………… P17
①町長の施政方針について
②教育長の教育行政方針について
③町運行の公共交通の実態
- 小笠原佳子議員…………… P18
①矢巾町における政策形成は
②在宅介護について
- 谷上知子議員…………… P19
①コミュニティ・スクールについて
②調整池の管理について
③高齢者や障がいのある方への交通支援
- 山崎道夫議員…………… P20
①移住・定住促進、空き家対策の取り組み
②町道矢次線の工事再開に向けた取り組み
- 水本淳一議員…………… P21
①文化スポーツの推進とコミュニティ・スクール
②地域防災について
③2025年問題と地域包括ケアシステムの構築
- 小川文子議員…………… P22
①スーパーシティ構想について
②新型コロナウイルス対策は
- 藤原梅昭議員…………… P23
①「快適性と安全性を高めるまちづくり」
②学校教育の充実
③子ども・子育て支援の充実
- 川村よし子議員…………… P24
①国民健康保険制度について
②教員の変形労働時間制について
③安心して教育を受けられる取り組み
- 吉田喜博議員…………… P25
①河川整備について ②西部地区の開発
③徳丹城の観光推進 ④医大周辺の交通対策
⑤町人口3万人を実現するための土地利用

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。
詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。☎019-611-2801

お詫びと訂正 前回発行の211号20ページ、消防演習の写真説明に誤りがありました。
誤 女性消防団員 正 矢巾町婦人防火クラブ員 謹んでお詫びし訂正いたします。



ひろた きよみ
廣田 清実 議員
(町民の会)

認知症対策施設整備は 旧町民センターを拠点施設に

質問 「健やかな生活を守るまちづくり」について、国の認知症施策推進大綱が示され、本町においても「共生」「予防」を行うためチームオレンジ拠点施設を整備するとあるが、どこに整備しどのような活動支援を行うのか。

町長 旧町民センター食堂にチームオレンジ拠点施設を整備する。活動内容は認知症サポーター養成講座の受講者で構成されたオレンジボランティアの方々と、町が主体となり支援をしていく。具体的には、認知症カフェや訪問型サービス等の拠点、認知症の方やその家族が気軽に立ち寄れる場所としていく。また、社会参加支援、サポーターの養成などを行っていききたい。

質問 健康寿命の延伸を目指す取り組みの一つとしてメディカルフィットネス施設を拠点としてとあるが、公民館などで行っている文化系の趣味の教室などの連携や支援は考えていないのか。

町長 歩くことに重点を置きながら、身体、健康寿命の延伸に取り組み。町公民館や地域の公民館での活動も重要であると認識しており、趣味などの教室とも連携し心身の両面においての健康寿命延伸対策として行う。

スクールバス 運行計画は 早期に検討する

質問 路線バスが通っていない小中学校にスクールバスの運行計画はないのか。

特に冬季期間には必要だと思いが、導入の計画はないか。
教育長 対象エリアの選定やバス運行形態のあり方などを含め早期に検討を行い実施していきたい。

共同調理場 運営形態は 民営化も 選択肢の一つ

質問 民営化を検討とあるが、給食は子どもたちの身体づくりにおいても大切であり、
町長 町営で行うべきと考えるが、
教育長 正職員の年齢構成が高めのため、将来的に人員不足になり、調理の水準を維持することが困難になることが想定される。そのため持続可能な体制を構築していく際に民営化も選択肢の一つであるが慎重に検討したい。



みんなが集えるカフェエリア (旧町民センター食堂)

施政方針の重点施策は何か

第7次総合計画(後期)に基づき着実に



ひろたみつお 議員
廣田 光男 (一心会)

質問 機構改革の取り組みはどのようにすすめるのか。

町長 各分野の施策推進をより効果的、効率的に加速するために体制の最適化を図る。

質問 市街化区域の拡大について具体的進捗状況は。

町長 盛岡広域都市計画は現在岩手県で見直し中であるが、関係機関との協議に時間を要している。

編入後の開発計画は、区域区分の見直しを3地区に予定し民間による宅地開発が予定されている。拡大規模は約33ヘクタールである。

質問 矢巾スマートインターチェンジを核とする開発と国道4号盛岡南道路の計画は。



4月から新しい組織体制でスタートした子ども課(さわやかハウス) 子育てと教育の切れ目のない支援を目指す

代表質問 町政を問う

町長 今回、国土交通省で公表したバイパス案は2〜3年の間にルートが確定される予定である。

今後、国土利用計画等の見直しによりスマートインターチェンジを核とした具体的な開発計画を推進していく。

質問 財政問題であるが、県下で1、2番に高い将来負担率が改善されていないが、その改善策はあるのか。

町長 義務的経費が増加し、財政の硬直化が進み、投資的経費の確保が難しい。経費削減や補助事業の活用による財源確保に努めている。

農協と行政の役割は

農協と一層の意見交換を図る

質問 新規就農者のハードルの高さ、農業従事者の減少、食料自給率、TPPの影響と4つの課題にどう向き合おうか。

町長 いずれも重要課題であるが、新規就農者支援制度や農業の6次化に取り組む。

また、農地の有効活用を図り所得および地産地消による食料自給率の向上、米の関税の維持による価格補償等に鋭意取り組んでいく。

質問 農協と行政の役割と守備範囲が不明確。農協の農家支援策がおろそかになっていると思われるがどうか。

町長 農協は営農支援や販売業者等との結びつきを進め組合員の利益を確保していくことが重要である。

農協との意見交換を行い農政の推進を図っていく。

大きな前進空き家対策 法律の改正により可能



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾明進会)



急がれる空き家対策

質問 農村地域等へ移住を促進する「農地付き空き家」の取得の許可を円滑にする事業（地域再生法）の法律改正により市街化調整区域内に移住・定住ができるようになるが、今後どのように取り組んでいくのか。

町長 この事業により空き家の取得支援、農地取得の下限面積の例外など「農地付き空き家」の取り組みが一層促進できる。

「既存住宅活用農村地域等移住促進事業計画」は国の認定を受けることが必要である。町農業委員会など関係機関と協議し検討する。

いじめ問題の現在の対応は

学校と相談員が協力して対応

質問 いじめ問題の対応のため、アンケートを実施し、状況把握と分析をしているがどのように対応し活用するか。

教育長 いじめ問題相談員の学校訪問や教育委員会と学校で情報共有を行い、緊密な協力体制を築き取り組んでいる。

質問 子どもの負担軽減や、教職員の執務時間確保の効果を検討し、全国で導入が進む午前5時間授業の考えは。

教育長 導入校の効果や授業コマ数が増えることによる影響を検証し、今後の研究課題として導入の是非を検討する。

消防退職者採用の考えは検討していききたい

質問 消防矢巾分署の消防車・救急車の出勤回数が増加しており、非常に多忙である。署員の増員が難しいのであれば消防退職者等の非正規職員を採用してはどうか。

町長 広域消防本部と協議を重ねており令和3年度以降に人員を確保していく。退職者の採用も良い提案である。

農業の将来は産地交付金を活用

質問 農事組合法人等の高齢化などへの今後の対策は。
町長 若者が安心して農業を行えるように産地交付金等を活用する。

町民の幸福実現に笑いを 笑顔で参加できる事業に努める



こん 昆 秀一 議員
(一心会)



ボランティアによる「ふれあい弁当*」の調理活動（さわやかハウス調理室）

質問 近年、医学的にも笑いの効用が認められている。その笑いの効用を意識して、各施策に活かしてはどうか。

町長 福祉関連事業はもとより、各種イベントなどに町民が笑顔で参加して、コミュニティ

ケーションの輪が広がることを前提に内容を検討し、実施していく。

質問 笑いヨガやケアリングクラウンの活動を導入し、推進しては。

町長 ケアリングクラウンとは、入院患者や被災者の方などに道化師が訪問して笑わせるなど楽しい時間を過ごし、心身の健康を高める活動のことである。

本町は介護・福祉施設も充実しており、相談があれば積極的に協力する。

ボランティア活動の支援を

研修会等を開催し 資質向上を支援

質問 各種ボランティアの個人・団体に対する支援状況を問う。

町長 ボランティア活動そのものへの助成などは行ってはいるが、資質向上を目的とした研修会を通じて活動を継

続できるように支援を行っている。

質問 ボランティア活動をしたい方と、人手を求めている団体とのマッチングをどう行っているのか。

町長 町からボランティアセンターの活動が円滑に行われるように、地域の状況などボランティアに関わる情報を随時提供している。

子どもの貧困 解決策は

貧困の連鎖がない よう支援を強化

質問 子どもの貧困が社会問題となっている。その解決策をどう考えているのか。

町長 子どもたちの将来が、その生まれ育った環境に左右されないようにしなければならぬ。

さらに、必要な生活環境の支援と教育の機会を提供し、総合的に進めていく。

*社会福祉協議会では町内の高齢者、障がい者世帯を対象にボランティアによる手作り弁当の調理・宅配を行っている。



あかまる ひでお 議員
赤丸 秀雄
(一心会)

町の公共交通運行の改善を 町民要望を5月運行に反映

質問 デマンド型乗合タクシーの利便性が悪いとの声が多い。改善する内容と時期はいつ頃か。

町長 乗降場所の見直しと東西乗り継ぎ制度を新規導入し、運行回数や運行時間の拡大などを申請する段階であり、5月の運行に反映させたい。

質問 改善できないものは。

町長 戸口までの送迎、町外エリアへの乗降や専用電話による受付である。

通学路に 防犯灯増設を

早期対応に努める

質問 多くの町民から通学路

指定金融機関
福祉・子ども課
3F 企画財政課
総務課
選挙管理委員会
観光振興課
生涯学習課
町民生活課
児童課



各自治公民館に設置し乗降場所を表示

に防犯灯増設の要望があるが。

町長 増設には自治会の一部負担があるため、地元と相談し早期対応に努めたい。

質問 安全確保第一に町の負担で早期設置を要望したい。

町長 自治会の負担がない街

路灯において設置場所を検討したい。

地域おこし 協力隊の増員を 増員に向け募集中

質問 町民に元気を与えている地域おこし協力隊の増員は。

町長 隊員の頑張っている姿は頼もしい。SNSや説明会開催などで募集に努めている。

給付型奨学金 制度の創設を

制度設計を早期に

質問 定住化促進・地域活性化に条件付きの給付型奨学金制度を望むが、その考えは。

教育長 必要性はある。制度設計を早期に行い、令和3年度から実施したい。

保育事業へ 更なる支援を

財政を考慮し

前向きに検討

質問 副食費の全員無償化や第2子からの保育費無償化を望むが、近い将来の考えは。

教育長 必要性はみとめるが、財政問題もあり、即無償化ができる状況でない。

矢巾町における政策形成は

EBPMの考え方を取り入れながら

(エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング)



おがさわらよしこ
小笠原佳子 議員
(公明党)



認知症サポーターが付けるリストバンド（オレンジリング）

質問 町では*EBPMを取り入れているのか。取り入れている場合は、どのようにして政策を立案しているか。

町長 因果関係を分析し根拠や証拠を持ち、EBPMの考え方を取り入れながら施策を進めている。

質問 EBPMを行うにあたり、ロジックモデル（事業の設計図）を活用している例もあるが、町では政策目的を達成するまでの具体的な計画は。

町長 EBPMやロジックモデルを活用した計画の策定や構成はなされていないが、今後検討したい。

福祉施設の 入所待機者は

第8期介護保険 事業で解消を

質問 町内における施設入所者と在宅介護者について的人数はどれくらいか。

また、在宅介護者の施設入所を希望している待機者の状況と解消のための対策は。

町長 施設入所者240名、在宅介護者885名で待機者は9名である。在宅サービスを利用し、本人と介護者の負担を軽減している。

第8期介護保険事業計画の中で施設整備計画を進める。

質問 在宅介護者の健康診断の受診状況や体力的・精神的な疲れなどの健康状態を把握する体制はあるか。

町長 在宅介護者限定の健康状態を把握する体制はない。必要に応じて介護職員等支援者から情報提供をいただき、相談や受診支援を行っている。

質問 認知症の方やその家族の困りごとを手伝う仕組み「チームオレンジ」の整備などをさらに進めるとしているが、町ではどのように推進しているのか。

町長 旧町民センター食堂をチームオレンジの拠点施設として整備する。そして町が主体となり、オレンジボランティアや生活支援コーディネーターなどとともに認知症カフェなどを開催し、認知症の方やその家族が気軽に立ち寄れる場所として日中の憩いの場を提供する。

また、認知症に関する普及啓発として認知症サポーター養成等にも取り組む。

*EBPM：経験ではなく証拠をもとに裏付けと照らし合わせて政策立案をすること。

コミュニティ・スクール 熟議と共感で進める



やがみ ともこ
谷上 知子 議員
(令和やはば)

質問 学校運営協議会を設置し「熟議」(十分に議論を尽くすこと)の場を通して、目標やビジョンを共有していくとしているコミュニティ・スクールの実りあるものとするための取り組みは。

教育長 コミュニティ・スクールの運営で最も大切なことが「熟議」だと考えており、学校の経営方針をしっかりと説明し共感できるようにする。

質問 教員の任用について、学校運営協議会が意見できる範囲はどこまでか。

教育長 個人を特定したものではなく、学校の教育上の課題を踏まえた建設的な意見に限るとされている。



コミュニティ・スクールの説明を受ける教育振興運動研修会参加者

質問 父母や地域への周知と啓発は。

教育長 町PTA連合会や、教育振興運動研修会において説明を行ってきた。

今後は地域と学校でどのような協力ができるか議論していく。

質問 コミュニティ・スクールの活動を円滑に進めるための人材養成は。

教育長 将来的には社会教育上の地域学校共同活動推進員(地域コーディネーター)を委員に加えて円滑に進める。

高齢者等への 交通支援は

状況に合わせて支援

質問 公共交通に頼らなければ通院や買い物等ができない高齢者や体の不自由な方への交通支援については。

町長 障がいの種類と程度に応じてバス乗車券の割引やタクシー券助成制度があり、65歳以上の一人暮らしや障がいのある方に対し買い物支援サービスを行っている。

質問 現行の支援策に該当しない人に対し、バス割引パス券等の支援の考えは。

町長 今後検討していく。

調整池の管理は

状況を見ながら対応

質問 草が伸びすぎ危険な調整池の草刈りなどの管理は。

町長 状況を見ながら草刈りの回数を増やすなど対応する。

インパクトのある移住支援策を 矢巾型支援策を検討



やまざき 山崎 道夫 議員
(一心会)

質問 人口減少の中、移住・定住促進、空き家対策等の取り組みにより、多くの移住者を受け入れるなど、成果をあげている自治体がある。

本町における移住・定住促進、空き家対策等の取り組みが極めて弱いと感じる。今後どのような取り組みを推進していく考えなのか。

町長 人口3万人の実現を目指し、3つの補助メニューを設けている。

1つ目には、現在200件ほどの利用がある個人住宅取得資金利子補給金制度であり、令和6年度まで継続していく。

2つ目は、結婚新生活支援補助金制度(最大30万円)。

3つ目は、東京圏からの移



整備が急がれる矢次線の未整備地

住者に対し、最大100万円の補助を行う移住支援補助金交付制度がある。
空き家対策については、矢巾型空き家バンクへの登録を呼びかけ、活用促進の取り組みを図っていきたい。

質問 成果をあげている他市町村の子育て支援など、インパクトのある支援策と受け入れ体制の考えは。

町長 他自治体の先進事例等を参考に、矢巾型支援策をしつかり検討し、様々な方法でアピールしていきたい。

町道矢次線の 工事再開は 計画の同意に向け 努力する

質問 町道矢次線の拡幅工事は、今から13年前の平成19年に完成する予定であったが、約600メートルを残し工事が中断したままである。

現状は、途中からいきなり道幅が狭くなっており、大変危険な状態である。

工事再開の見通しと、今後の取り組みを示されたい。

町長 矢次線は盛岡市と本町を繋ぐ重要な路線であると認識している。

計画に同意を得られない地権者に対しては、今後も話し合いを続け、契約できるように努力していく。

また、町が買い取った土地の境界にはあぜを取りつけたり、盛り土をするなどして、工事を進めていくことを考えている。



みずもと じゅんいち 議員
水本 淳一 (町民の会)

文化スポーツの取り組みは 新しい体制の中で充実を図る

質問 文化スポーツ課の具体的施策は。

町長 健康チャレンジ事業を楽々クラブ矢巾に委託し継続実施する。さらに文化財、スポーツ、音楽、観光など横断的に事業の連携を進めていく。

質問 復興「ありがとう」ホスタウンのオーストリアとは、東京オリンピック終了後も音楽による交流を続けては。

町長 スポーツのほか音楽や文化等でも交流の予定である。

質問 学校の枠を取り払った小中学校の部活動を行っては。

教育長 地域の団体などと連携し学校と地域が協働、融合した形での文化・スポーツの環境整備を検討していく。



現在使われていない頭首工（宮手川）

地域の防災は

自主防災組織 を充実

質問 自主防災組織の活動は。

町長 町防災訓練のほか、これまで5組織が自主防災組織活性化モデル事業に参加。

質問 防災マップの見直しは。

町長 令和3年度に岩崎川の水位周知河川指定と浸水想定区域が示されるが、その後に見直す予定である。

質問 太田川（県管理）と宮手川（改良区管理）の改修計画は。

町長 太田川はJR東北線より下流の事業を進めている。宮手川は頭首工を随時撤去している。他区間等は今後、県や土地改良区と協議する。

2025年問題 町の解決策は

組織機構改革で 万全に

質問 町の地域包括ケアシステムをどう構築するのか。

町長 介護予防・フレイル予防のため、新年度から後期高齢者に対する保険事業と介護予防を一体的に取り組む。

質問 認知症・徘徊高齢者等の安全対策は。

町長 新年度から、ICTタグを利用した地域ぐるみの見守りサービスを行う。

質問 地域コミュニティにおける見守りの担い手確保は。

町長 保健福祉サポーターを支援し担い手を育成をする。

スーパーシティ構想は 国家戦略特区の指定を検討



おがわ ふうこ
小川 文子 議員
(日本共産党)



こまめな手洗いで感染予防を徹底（煙山保育園）

質問 内閣府は、最先端技術と大胆な規制緩和により理想の未来社会を先行実現するスーパーシティ構想を推進するために自治体等からアイデアを募集し、本町が公募したが、その経緯は。

町長 平成31年4月に設置し

た未来戦略室でフューチャーデザインの手法による政策立案を行っており、社会課題の5項目ほどのテーマがスーパーシティ構想によって解決が可能であると考えられることから応募した。

質問 スーパーシティ構想を実現するために国家戦略特区の指定を目指す計画があるか。

町長 現在、法案は成立していないが、国家戦略特区の指定を念頭に置きながらスーパーシティ構想の実現に向けて情報収集しながら検討する。

質問 令和元年11月に町でワークショップを開催しているが、主な内容は。

町長 「先進技術を活用したまちづくり」をテーマに設定し開催した。

具体的には、本町の将来について高齢化や少子化、地球温暖化や省エネルギー、産業の面については農業や医療そして健康や情報、交通や交流など多方面にわたった内容になっている。

先進技術を活用した社会課題の解決に向けて討議した。

新型コロナウイルス 対策は

電話相談窓口 設置を検討

質問 感染者数が国内で千人を超えた新型コロナウイルス感染症の対策として町で電話相談窓口を開設できないか。また子ども達への対応は。

町長 国や県、紫波郡医師会と連携を強め感染予防に取り組む。町では対策本部を設置し電話相談も受ける。

小中学校は3月3日から臨時休業とした。

保育施設等ではこまめな換気や手洗い、うがい等を徹底し予防に努めている。

質問 学校臨時職員の待遇は。
教育長 学校臨時教職員は通常の待遇となる。

また、町給食センターのフルタイム臨時職員を除くパート職員7人は休みとなる。



ふじわら うめあき
藤原 梅昭 議員
(一心会)

「気候非常事態宣言」はいつか 早急に表明し地球温暖化対策を啓発

質問 12月会議において採択された「気候非常事態宣言」への考えは。

町長 持続可能な社会（SDGs）が掲げる「気候変動に具体的な対策を」にもつながる重要な行動であり、早急に宣言を表明し、地球温暖化対策への具体的な行動につながるよう啓発していく。

質問 外国人支援として「災害多言語支援センター」との連携及び自動翻訳機の導入は。

町長 岩手県国際交流協会と連携しており災害時に活用できる体制の構築を進める。自動翻訳機はスマートフォンなどのアプリ等で対応したい。

質問 災害発生時費用を補償する「住民避難保険」対応は。



平成25年8月9日の大雨災害で崩落した山王茶屋前橋

町長 平成30年度から加入しており、昨年の台風19号でも保険適用を受けている。

質問 学校での「地球温暖化」「環境問題」への取組は。

教育長 様々な教科の授業の中で学んでおり、大学・事業者等の出前授業、環境委員会等でも取り組んでいる。

一般質問 町政を問う

多子・多胎 世帯の支援は 「全世帯に優しい 矢巾宣言」で対応

質問 妊娠から学校までの子育て全般、特に多子世帯・多胎世帯への厚い支援を。

町長 合計特殊出生率が県下で最下位の本町として、支援内容の見直しを行い、「全世帯に優しい矢巾宣言」により対応したい。

働き方改革で 教育の充実を タイムレコーダーの 活用で業務の見直し

質問 教員の余裕により、良い教育ができると思う。

教育長 タイムレコーダーを活用し、働き方改革の具体策について、業務の見直しを含めた実行策とスケジュールを作成する。

質問 多忙期解消のために、2学期制も検討しては。

教育長 2学期制は過去に本町で行った経緯があった。その資料を基に2学期制も含めて検討したい。

遠距離通学費補助要綱見直しを 中学生にも補助範囲を拡大



かわむらこ
川村よし子 議員
(日本共産党)



導入が待たれるスクールバス (写真提供 紫波町)

質問 遠距離通学費補助制度の要綱を見直し、対象を中学生まで広げる考えは。

教育長 令和2年度から内容の見直しを行い、中学生にも補助対象範囲を広げる。

質問 就学援助制度の申請手

続きは教育委員会に直接提出できないか。

教育長 申請には学校長の意見が必要なことや保護者が個別に教育委員会窓口へ提出する負担を少なくすることを考えていたが、教育委員会への直接申請も受け付ける。

質問 スクールバス導入の具体的な検討をしてほしい。

教育長 スクールバスの運行範囲や運行形態のあり方などを検討し遠距離通学への利便性の向上、安全確保のため早期の導入に向け取り組む。

子どもの国保 均等割廃止を

制度設計など

国に働きかける

質問 18歳未満の均等割を全額免除するには年間どの程度必要か。

町長 346人が対象で年間850万円が見込まれる。

質問 独自の判断で法定外繰

り入れをする自治体がある。当町もするべきでは。

町長 国では安定した財政運営・健全化に向け法定外繰り入れは解消すべきとしている。制度設計や財政措置を国に要望する。

教員の変形労働 時間制は

現場の声を聞いて 対処

質問 「1年単位の変形労働時間制」の法案が成立したが、教育現場の声を聞いてほしい。

教育長 制度導入は、岩手県教育委員会の権限に属する。学校訪問や現場等の意見を聞き慎重に対応する。

質問 教員の勤務実態について、どう把握しているか。

教育長 各学校の時間外勤務状況報告により把握している。勤務改善の取り組みとして、働き方改革の具体策について令和2年度に業務見直しなどの計画を作成する。

徳丹城跡地の整備計画は 東西道路や井戸跡の復元を



よしだ のぶひろ 議員
吉田 喜博 (町民の会)

【質問】 国指定史跡の徳丹城は指定50周年を迎えた。これを契機に「政庁」や「東・西・南・北門」を復元し歴史に親しむ機会を増やし観光化の考えはないか。

【町長】 令和2年度から第二次史跡整備を予定しており、西門跡を通る東西道路の復元や、琴の天板が出土した井戸跡の復元は考えている。観光化については、「徳丹城春まつり」に役人衣装等を使った平安行列を予定。

医大周辺堤防に
桜の植樹を

河川管理者と
協議したい



さけの稚魚放流による岩崎川の観光化

【質問】 岩崎川河川堤防に桜の木などの植栽の計画はないか。
【町長】 周辺の景観整備として桜の植樹を期待する声が寄せられているが、河川区域内は治水上の安全性から難しいと考えられる。草花の植栽を検討したい。

西部地区の
開発は

県営住宅の
誘致も視野に

【質問】 国道4号に沿った企業誘致や、駅周辺の宅地整備計

画は示されている。しかし、西部地区の開発に関する考えはなかなか見えてこない。

以前、企業誘致の話があった室岡地区の町有地についての現況と今後の活用方法は。

【町長】 室岡の町有地は、交通事業者の誘致を進めていたが、昨年5月に辞退の申し入れがあった。

今後、市街化調整区域における地区計画設定も視野に入れ慎重に検討する。

医大周辺の
交通対策は

地域の声を聞き
検討したい

【質問】 医大附属病院の移転に伴いビッグハウス周辺やその東側の地域の交通量が増えている。その地域の道路拡幅や安全対策は。

【町長】 東側の道路の拡幅については現時点での計画はないが、交通量の状況や地域の声を聞きながら安全対策を検討していく。

先進地から学ぶ

産業建設分野の課題解決を見出すため視察研修してきました。

産業建設
常任委員会

まちの魅力を発信し 移住・定住を支援

石川県羽咋郡志賀町
視察日：1月21日(火)

研修目的

町や民間が造成した団地や宅地があり、雇用の促進や子育て支援、移住・定住支援で自然を満喫できる都会的な田舎暮らしの取り組みを研修する。

調査報告

平成17年に2町が合併し志賀町が誕生したが10年間で人口が3000人減少。町は移住・定住対策に取り組む。

老朽化した町営住宅を取り壊し、単身者向け住宅やファミリー棟に建て替え、民間の宅地造成と合わせ1600区画を整備した。官民一体となり、町の魅力を発信し、首都圏や近隣の自治体に対し各種施策の優位性をPRしており、その効果が移住者の増加に表れていた。



志賀町の担当者から説明を受ける

視察を終えて

移住・定住対策や空き家対策等の取り組みも本町の人口3万人構想に向けた大きな柱であり、町の魅力発信などPRしていくことが求められる。また、子育て支援や各種助成など現行制度の見直しも含め再検討し、より良い支援策を打ち出すべきと考える。

森林を活かしたいやしの場

森林セラピー基地
大河ドラマの誘致

石川県河北郡津幡町
視察日：1月21日(火)

研修目的

健康増進など観光拠点の石川県森林公園（森林セラピー基地認定）やNHK大河ドラマ誘致活動による町の活性化の取り組みを研修する。

調査報告

森林公園は年間18万人が訪れるいやしの場として交流人口の拡大につながっていた。大河ドラマ誘致活動を通して、イベント開催や関連商品

視察を終えて

本町の魅力アップのため、西部地区の森林を活かしたいやしの場づくりの研究や検討を望む。また、徳丹城やキャラクターのわたまるくんを活かした商品開発、販売などに取り組むべきと感じた。

市民自ら考え参加する

1%まちづくり
アウトレットモール誘致

富山県小矢部市
視察日：1月22日(水)

研修目的

インターチェンジが3カ所ある高速交通網を活かしたアウトレットパークの誘致で、地域活性化を実現させた。

また、市民が自ら考え参加する事業に対し、個人市民税の1%相当額を補助する1%まちづくり事業を視察する。

調査報告

誘致により空き店舗への出店も増えている。また、市民自ら特徴ある事業を展開し補助金以上の効果がある。

視察を終えて

本町でも道の駅等の誘致や、町民自らが参加する特色あるまちづくりが必要と考える。



昆 啓子さん (高田1区)

初めて議会を傍聴して

地元の議員さんからお声をかけていただき、議会というハードルが高く勇気のある場所に初めて行かせていただきました。

議会の受付で一般質問をする議員の一览表と質問の内容をいただき、議場に入らせていただきました。

テレビでよく目にする国会中継とは違って、ヤジもなく、相手の非を責め立てているだけの質問ではなく、どうしたら矢巾町の抱えている問題点がよりよくなる



議会を傍聴する筆者

ようにとの願いや、方向性を互いに認識しあつての質問や答弁に、矢巾町に移り住んで30年以上にもなるのに、知らないことだらけのことに気付かされたひとときでした。

これからも地元の皆さんとともに、住みよいまちづくりを楽しみながら暮らしていきたいと思えます。

最後に新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息しますようにお祈り申し上げます。

女性の意見を反映

町民と町議会との懇談会

2月8日に町公民館で開催した懇談会には、38人の皆さまにご参加いただきました。女性のつどい終了の後に開催したところ、多数の女性のみなさまにご参加いただきました。懇談会でいただいた質疑の一部をご紹介します。

ふるさと納税の実態は

質問 ふるさと納税の状況はどのようになっているか。

回答 平成30年度は16億円以上のふるさと納税があり、その3割が町の歳入となった。国の制度改正により令和元年度は目標額を4億円とした。

町民歌を広げて

質問 町民歌は「やはラヂー」でも聞か、あまり流れていない。町民歌を広げる話はどのようにしているか。

回答 議会でも歌っており、いろいろところで流れるように提言していく。

町社会福祉協議会の設置場所

質問 社会福祉協議会の場所はどこか。

回答 本庁舎2階に移り福祉課と連携する。

バスの本数が少ない

質問 矢幅駅から医大までのバスの運行が時間帯により少ないので改善してほしい。

回答 現在は試験運行中であり、今後課題として整理していく予定。

高齢者の移動支援は

質問 高齢者が参加する場合は提供されているが移動が難しい。支援策を望む。

回答 エン(縁)ジョイの支援金で対応することも一つの方法である。

町ではデマンド型交通の充実、社会福祉協議会や町内福祉施設の送迎用バスの協力利用など検討を進めている。

旧矢巾中学校の跡地は

質問 旧矢巾中学校跡地の活用をどう考えているのか。

回答 令和2年3月25日に活用検討委員会で話し合われる。



3グループにわかれて懇談 (町公民館)



金沢歌劇座にて豊かな響きを奏でる煙山小吹奏楽部 (石川県金沢市)
写真提供 (株)フォトライフ



煙山小学校 吹奏楽部顧問

た なか かつ のり
田 中 克 徳 さん

地域のみなさまに支えられて 東日本吹奏楽大会で金賞受賞

煙山小学校に赴任して6年目。やっとな子どもたちの夢であった東日本学校吹奏楽大会(小学校の事実上の全国大会)に出場することができました。

3月に校内でお別れコンサートがあるのですが、そこで、卒業する6年生から毎年毎年「来年こそ、東日本大会に行つてね。」と夢を託されてきました。涙を流しながら語るその姿に4、5年生たちは、来年こそと誓うのでした。その夢がやっとなかなえられました。東日本大会出場を決めた青森のホールでは、喜びのあまり20分以上も泣き続けていました。

吹奏楽を通して、心も育ってきたように思います。切磋琢磨していることのほかに、今年の子どもたちは、「ありがとう。」とすぐに言葉にできることがステキだなと思っています。

ある日、スクールガードの方にこんなことを言われました。うちの6年生に東日本大会で行った金沢のお土産を渡され、「いつも応援ありがとうございます。」と言ってもらえたとのこと。「おかげさまで」という感謝の気持ちを忘れないうでいてくれてるんだなあと思つたら、とてもうれしかったです。

吹奏楽は、自分たちだけではできません。吹奏楽活動を応援してください。コンサートにたくさん来てくださること。遠征費、楽器の消耗品を町が大きく補助して下さること。矢巾町では、地域の皆様のご支援をいっぱいだけいただけます。子どもたちも応援してもらえることが、こんなにうれしいとは思わなかったと言っていました。

これからも、子どもたちが成長できるような吹奏楽部活動、頑張ります。

表紙に寄せて

2月8日、9日に徳丹城を題材にした舞台、第24回町民劇場が開催されました。

出演者の演技に圧倒され、また子どもたちの幻想的な踊りに魅了されたひとときでした。



あ と が き

編集委員として4回目の発行となりますが、毎回限られた紙面の中で、いかにわかりやすく編集していくかということに苦労しています。

みなさまの率直なご意見をいただきながら、より良い「議会だより」の編集に努めてまいります。

編集委員 藤原 信悦

発行・編集責任者

議長 藤原 由巳

編集委員

委員長 水本 淳一
副委員長 廣田 清実
委員 藤原 信悦
吉田 喜博
小笠原佳子